



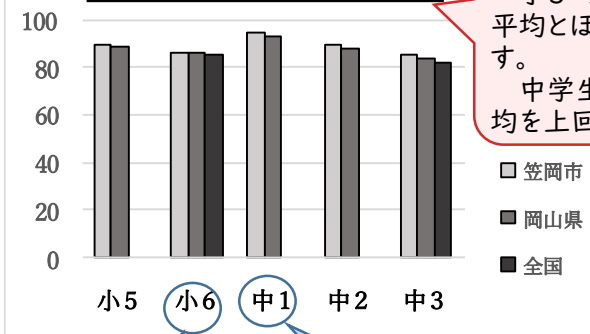
～ 令和5年度の小中一貫教育を振り返って ～



令和5年度は中学校ブロックの愛称となる学園名を決め、学園でめざす子供像に向けて小中一貫教育に取り組んできました。本年度の取組を、アンケート調査や全国・岡山県学力学習状況調査の結果から振り返り、成果と課題を来年度に生かしていきたいと考えています。

〈令和5年度全国学力学習状況調査(小6,中3), 令和5年度岡山県学力学習状況調査(小5,中1,中2)の結果より〉

①学校に行くのは楽しい。

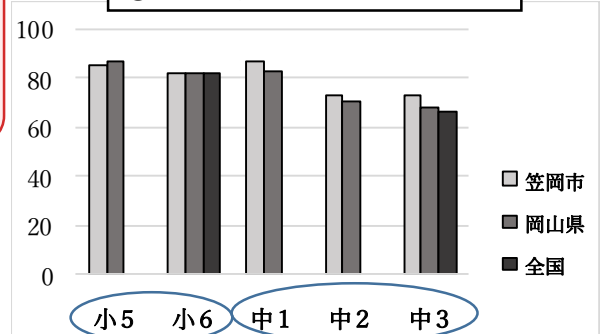


小5・小6は県・全国平均とほぼ同じ結果です。
中学生は県・全国平均を上回っています。

小5の時より約5%アップ!

小6の時より約7%アップ!

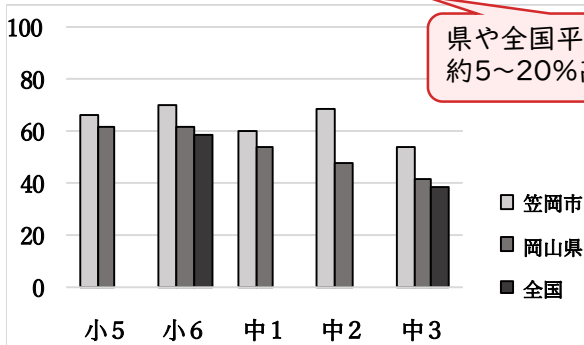
②将来の夢や目標をもっている。



県や全国とほぼ同じ結果です。

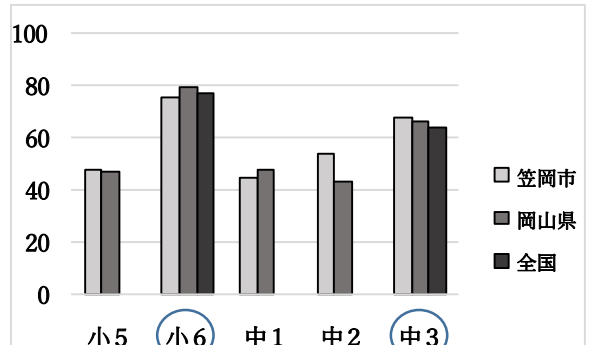
県や全国より約4%高いです!

③地域の行事に参加していますか。



県や全国平均より約5~20%高いです!

④地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。



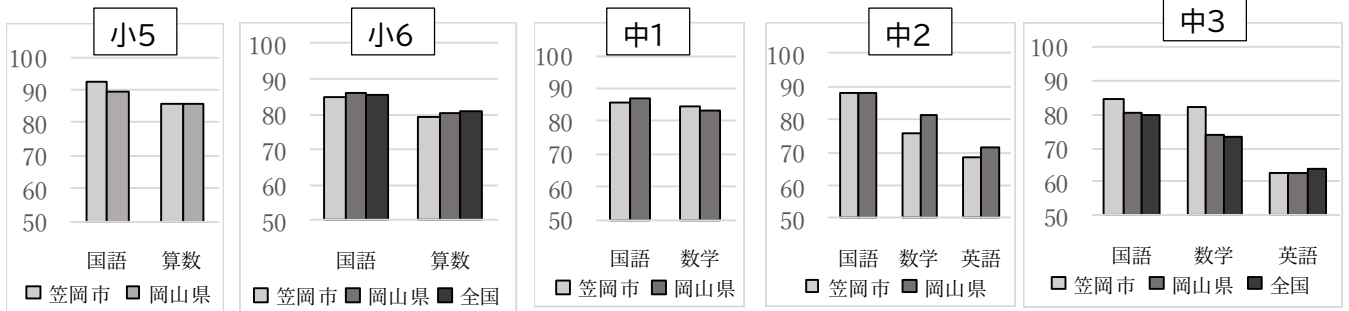
昨年の小5の時より約7%アップ!

昨年の中2の時より約18%アップ!

まちづくり協議会に参加する
神内小学校6年生



⑤授業の内容はよく分かりますか。



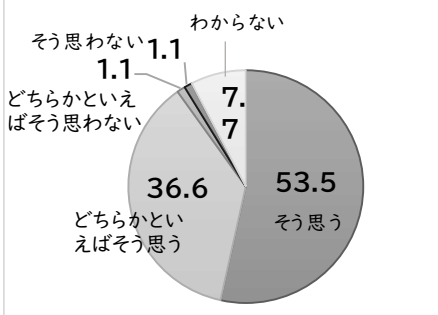
小学校5年生から中学校1年生で「授業がよく分かる」と回答した児童・生徒の割合は県・全国とほぼ同等であり、学力テストの得点も県・全国平均と同等でした。

中学校2年生の「授業がよく分かる」と回答した生徒の割合は県より低く、学力テストの得点も県平均を下回っていました。

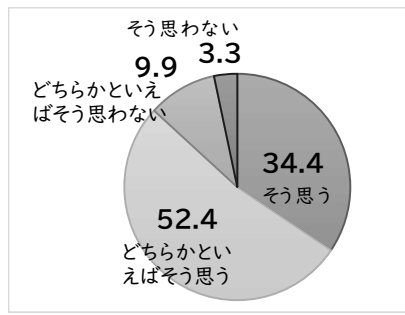
中学校3年生の「授業がよく分かる」と回答した生徒の割合は、国語と数学が全国や県より高いものの、学力テストの得点には結び付きづらい傾向にありました。

〈令和5年度小中一貫教育に関する中学校1年生のアンケート結果より〉

①教科の専門の先生に授業を教えてもらうので分かりやすい。



②中学校の授業に意欲的に取り組んでいる。

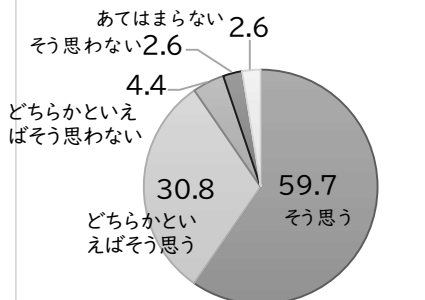


教科担任による授業に抵抗感なく、意欲的に学習に取り組んでいる様子がうかがえます。

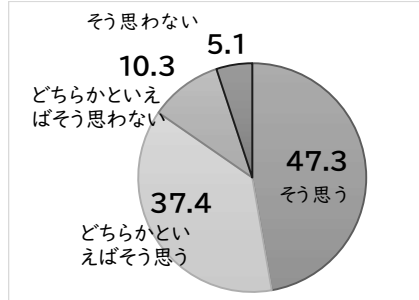


自分の課題に向けて熱心に取り組む笠岡西中学校の授業風景

⑤他の小学校から入学した人との人間関係はよい。



⑥先輩との人間関係はよい。



中学校に入学してからの人間関係は概ね良好と言えます。



新吉中学校の生徒会新入生歓迎会



それぞれの学園で、「学び」と「育ち」の連続性や系統性を意識した教育活動が進んでいます。小学校で体験した乗り入れ授業（中学校の教員が小学校で授業を行う）や、小学校同士あるいは小中学校の交流活動などにより、中学校へのスムーズな接続に効果が出てきています。また、地域学の実施により、郷土を愛する子供たちも増えてきています。一方で、学力の向上については課題があります。義務教育9年間の系統的な指導の在り方を今一度見直していきたいと考えています。また、家庭学習も子供たちが主体的に取り組むよう、内容や量など発達段階に応じて工夫していきたいと考えています。